

社長メッセージ

「生命を守る人の環境づくり」を実践し、
持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

代表取締役社長

大橋 太

少子高齢化が進行している今、日本の医療は岐路に立っています。労働人口の減少という喫緊の課題や、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの経験などを経て、高品質な医療をより効率的に提供し続けられる環境の整備が求められています。医療現場のデジタル化や医療従事者の皆様の働き方改革など、当社グループが提供するソリューションやサービスで貢献できる課題は無限に存在します。将来に向けた持続可能な医療提供体制の構築は、今や病院単独で主導するものではなく、行政や民間が協力して多角的な観点から支えていくべきもの。したがって、この社会ニーズに当社グループがいかに確実にお応えすることができるか、日進月歩の進化を続ける医療技術をいかに国民に届け、「生命を守る環境」を整備することができるかということが問われているのだと感じています。このような社会環境の下、「効率化」「最適化」「高度化」を同時に進めていくために、当社グループが総力を挙げて取り組まなければならない時が来ています。

ヘルスケアは多岐にわたる業務から成り立っています。医療現場では、医師や看護師による医療行為を中心に、臨床検査技師や管理栄養士等の専門的知見を通じた治療支援、医療設備・機器、医薬品や医療材料の供給などが必要です。調剤薬局との連携も欠かせません。また介護の現場でも、入

居者様の心身の健康維持・向上のため、生活に密着したきめ細やかなサポートが求められています。

私たちが注力するべきは、それらを「つなぐ機能」——つまり、ヘルスケアの現場が効率的かつ最適に運営されるよう、潤滑油になることです。68社のリソースが集まったシップヘルスケアグループは、医療現場で培ったコンサルティング力とプロデュース力をコアに、“モノづくり”と“コトづくり”の双方を主導できることを強みとしています。人々が健やかにより良く生きることができる「Well-being」な社会づくり、そこに従事する皆様の環境づくりへ徹底的に取り組み、グループのリソースを最大限に活用して持続可能なヘルスケアに貢献する。これこそが私たちのサステナビリティへの基本姿勢であり、私たち自身の成長への強い動機でもあるのです。

そのアプローチにおいて、地球環境への配慮、地域や人材への価値提供、それらを正しく進めるための組織づくりなど、いわゆるESGへの注力は欠かせません。エネルギー循環型の病院施設を提案する。物流のデジタル化・自動化で働き方改革を推進する。地域の雇用を促進する。強靱なグループネットワークによってお客様同士をつなぎ、レジリエントなヘルスケアサービスを創出する。こうした観点でステークホ



ルダーの皆様との共創を加速し、社会全体の持続可能性に貢献してまいります。

「SHIP理念」を第一義として掲げて固く結束してきた私たちが、サステナビリティというキーワードを再確認することで、新たな成長に向けた布石が明確に見えてきました。「生命を守る人の環境づくり」への使命をしっかりと受け止め、我々自身も絶えず進歩しながら、背筋を伸ばし、真摯に取り組んでいくことをお約束いたします。